

教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
(令和3年度事業分)

令和4年10月

西海市教育委員会

目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ~ 2
II	学識経験者における所見	3 ~ 12
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	13 ~ 16
2	教育委員会が管理・執行する事務について	17 ~ 23
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	26 ~ 29
(2)	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	30 ~ 34
(3)	健康で安全な学校生活の実現	35 ~ 39
(4)	教職員の資質の向上	39 ~ 41
(5)	幼児教育の推進	41 ~ 42
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	43 ~ 47
(2)	公民館活動の活性化	47 ~ 49
(3)	人権・同和教育の推進	49 ~ 50
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	51 ~ 52
(2)	青少年の健全育成	52 ~ 55
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	56 ~ 57
(2)	安全で快適な教育施設の整備	58 ~ 61
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	62 ~ 63
(2)	文化財の保存・保護・活用	63 ~ 65
(3)	活力あるスポーツの振興	66 ~ 69
(4)	スポーツ環境の充実	70 ~ 71

I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、西海市教育委員会においては、令和 3 年度における所管事務について、西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の 2 名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

柏田 正 氏（元時津町立時津小学校 校長）

一瀬 薫 氏（長崎県教育会 常務理事）

評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準により A から D のランク付けを行いました。

ランク	評 価 基 準
A	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

教育委員会の取組

教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトにて会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えています。

最後に、平成 28 年度に策定された第二期西海市教育振興基本計画は、これまでの P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルの実践により得られた成果や課題を検証したうえで、令和 3 年度に第 2 次西海市総合計画後期基本計画の策定と合わせ改訂しております。西海市教育振興基本計画に基づき、引き続き本市教育行政が果たすべき役割を的確に反映した内容を目指してまいります。

令和 4 年 1 0 月

西海市教育委員会

Ⅱ 学識経験者による所見

(柏田 正 氏)

西海市教育委員会が令和3年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、令和3年度の社会全体の大きな特徴は前年度以上に、厳しいコロナ禍にあったということです。そういう状況の中で各種研修会や訪問活動さらには社会施設活動などの生涯学習関係等に限らず、その影響を最低限にとどめながら事業の推進を図り、成果をあげていることを大いに評価します。これは関係職員一人ひとりが、またチームとして各事業に対する理解と課題の明確化はもちろんのこと、コロナ禍での各事業の具体的な計画、実施、反省、改善というPDCAサイクルの実践に真摯に取り組んできた結果であると推察します。

コロナ禍がいつまで続くのかわからない状況下で、ウェブサイトの活用による効果的な情報発信、学校教育ネットワークの構築等、これまで以上にICTを活かした様々な取り組みが求められます。コロナ禍で「できない」ではなく「どうすればできるか」という観点から新たな創意工夫で各事業を発展させていただくよう期待します。また、西海市の教育の大きな特徴の一つである「ふるさとを学ぶ教育の推進」における「西海学」では、子供一人ひとりが、ふるさとを愛する心、豊かな心が育つよう今後とも学校独自の創意工夫ある「西海学」の実施を望みます。併せて社会教育やスポーツ振興においても西海市独自の特徴となる取り組みをより推進・発展させていくことを期待します。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

市ウェブサイトを活用して委員会会議の開催周知を図ったり、委員会会議録を公開したりするなど関係職員の取り組みを高く評価します。さらにこれらの情報発信を継続することで会議の傍聴者数の増加につながったことは大変評価できます。また、長崎県教育委員会との意見交換や各種研修会等、対外的なものについては中止となりましたが、前年を上回る20回の学校訪問を実施し、延べ47名の委員が参加できたことは委員が各学校の実態を知る上で大変有意義であったと思われまます。今後の教育行政に活かしていただくことを切に願います。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされており、特記する事項はありません。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 本市の重要課題である学力の向上について、西海市AIプラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善の実施、PTAと連携した家庭での学習時間と内容の充実に向けた取り組みは、学力向上に大変有効な手段として評価します。本年度は家庭での学習時間の達成率調査が前年に続き未実施ですが、本年度実施の全国学力・学習状況調査の結果をみると、かなり低い水準にあるといえます。課題・方向性に記載されている項目について、より具体的方策を検討し、実践されることを期待します。また、児童生徒の全学

年における基礎的な漢字・計算等の西海市同一問題を定期的に調査し、各自の習得を確実にするなど学力向上のための様々な方策が考えられます。本市の児童生徒の実態に応じた創意工夫ある取り組みでさらなる学力向上を期待します。

- コミュニティ・スクールは「学校の課題や現状を理解してもらえる」「ボランティア活動が活性化する」「地域の将来を見据えた学校運営が行える」等のメリットがあり、それは学校の活性化、地域の活性化、ひいては西海市の活性化につながります。まさに「地域とともにある学校」の将来像と言えます。大瀬戸小学校の取り組みをモデルとして市内4校に広げたことは大変評価できます。さらに各学校へ波及し、発展していくことを期待します。

② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

- 道徳教育に関する研修の推進、研究授業を中心とした授業の質の向上、体験的な活動を取り入れた授業等十分な成果がうかがえます。さらに、県から講師を招聘しての研修会を実施したり、各学校の訪問時に道徳教育の指導を行ったりしたことは高く評価できます。また、子供たちの道徳性や人格の育成は学校だけではできません。そういう点からも体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合が100%というのは大変すばらしいことです。今後とも継続した取り組みの中で深化、発展することを期待します。

- ふるさとについて学ぶための副教材を小学3年生、中学1年生に配布し、授業に活用することで、郷土を誇り、ふるさとを愛する子どもの育成に大きく寄与します。今後も継続するとともに、内容の充実を期待します。

- 全小学校で計画していた西海学の実施が13校中、2校というのは本年度の場合やむを得ないことだと思いますが、新たな視点からの西海学の在り方を考え、発展させることも必要かと思えます。次年度は事業内容の充実を図り、実践されることを期待します。

- 心の教室相談員をはじめとする市のスクールカウンセラーやソーシャルワーカー等、教育相談体制の整備が充実しているが成果がみえないことが多々あります。それほど不登校の要因は多様化し、学校だけの問題ではなく、本人や家庭に要因があることも多く、長期化しやすく改善点が見出しにくいのが現状です。今後も連携を密にしながら相談体制がさらに充実していくことを願っています。

③ 健康で安全な学校生活の実現

- う歯罹患率が全国、県平均より低く、すでに目標値を大きく上回るほど達成していることはすばらしい成果です。これは行政、学校、PTA等の連携が十分に機能し、う歯予防の重要性の理解がなされた結果です。今後も継続した取り組みを期待しています。

- 地元の農作物を活用した学校給食は安全面からはもちろんのこと、子供たちが郷土を知るための有効な手段の一つです。地元の農作物は天候等に左右されるため一定量の確保が困難なことがあります。継続的な取り組みをお願いします。

④ 教職員の資質の向上

- 研修会を実施すれば教職員の資質が向上するとは限りません。参加する教職員がどのような問題意識を持って参加するか、参加者の実態や課題への対応の在り方や内容、また研修形態等でその成果が大きく左右されます。そうした中、研修会の充実度が100%を達成していることから、創意工夫のある研修会、魅力ある研修会に職員が一丸となって取り組み、成果を上げていることがよくわかります。今後も充実した研修会が実施されることを期待します。

⑤ 幼児教育の推進

- 幼児教育の重要性はこれから益々大きくなっていくと思われれます。その一つのキーワードが連携にあるといわれています。幼・保・認こ・小の合同研修会が新型コロナウイルス感染者の増加が原因で実施できなかったのは残念です。今後は課題にも記載されているように、対面やウェブ会議等あらゆることに対応できるような体制づくりに期待します。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- コロナ禍で図書館の臨時休館や図書館まつりの中止を余儀なくされ、図書の貸し出し数や図書館利用者数の減少はあったものの、その影響を最低限にとどめたり、ブックスタートの実施率が常に100%であったりしたことは、図書館ネットサービスや図書サービスの向上等による一定の成果だと言えます。今後、コロナ禍に影響されない創意工夫ある方策を講じることが大切です。また、本市の課題である児童生徒の平日読書習慣の啓発と定着に向けて、学校教育課所管の「読書活動の推進」事業への一層の後方支援を望みます。

② 公民館活動の活性化

- 厳しいコロナ禍で、公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備等において中間目標値に届かなかったものの、公民館講座利用者数が前年度より約1万人も増加したこと、また、状況に応じて研修会をオンラインと対面のハイブリッド開催で実施したことなど関係職員の姿勢を高く評価します。

③ 人権・同和教育の推進

- いじめ問題や男女共同参画、ジェンダー、ヘイトクライム等、社会を取り巻く環境において人権教育の重要性が問われています。平和学習同様、人権学習においても人権擁護委員等の外部講師を招聘して人権教室を実施するなど工夫して取り組むことが大切です。また、いじめ問題については、定期的なアンケート実施で実態把握に取り組んでいることは評価に値します。さらに、アンケートにはみえない子供の声を聴くという学校・教職員の質の向上を期待します。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- 家庭の教育力の低下がいわれる中、学校や公民館における家庭教育学級や講座の開設の重要性が増しています。コロナ禍にありながら7学級の講座開設がなされたことは評価できます。ただ中学校に開設がなかったことはこれからの課題といえます。今後、行政とPTAや保護者会が連携を深め、講座開設増加に取り組むことを期待しています。

② 青少年の健全育成

- 子供たちの問題行動の原因は多様化し、家庭や学校だけでは対応できなくなっており、市民総がかりで取り組む必要があります。コロナ禍で青少年の健全育成事業などで大きな影響がでており、関係職員が尽力したにもかかわらず、十分な成果が得られなかったのが残念です。今後、このピンチをチャンスに変え、新たな創意工夫と柔軟な考えで事業の活性化に取り組むことを切に願います。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心して望ましい教育環境の実現

- 全小学校に地域ボランティアの見守り隊が組織され、地域ぐるみの学校安全体制が確立していることは素晴らしいことです。また、人材バンク登録者が 42 名を数え、放課後子ども教室や土曜学習の開催を通して、子供たちの安全な居場所や学びの場を保証していることを高く評価します。今後の事業の継続と充実を期待します。

② 安全で快適な教育施設の整備

- 学校校舎の老朽化や体育館、屋外運動場における大規模改修工事等は子供たち、地域住民を含めての安全で安心な望ましい教育環境を確保するために大切なことです。年次計画の中で、子ども目線を大切にして、ぜひ予算確保をお願いします。

(5) 地域を支える文化・芸術・スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

- 優れた文化・芸術に触れ合う機会をつくるために小・中学校に舞台芸術「広島交響楽団によるオーケストラ公演」の鑑賞機会を提供したことは評価できます。地域的にも芸術活動に触れる機会が少ない本市の児童生徒には大変必要なことだと思われます。これからも多くの学校に、様々な種類の鑑賞機会を提供してくれることを期待します。

② 文化財の保存・保護・活用

- 必要に応じた対応・取組がなされており、特記する事項はありません。

③ 活力あるスポーツの振興

- 小学生を対象とした水泳教室の開催はコロナ禍で中止になりましたが、一般市民対象のバウンドテニス講習会は実施回数を減らして開催したり、地域の要請に応じた出前講座を実施したりしたこと、さらに、スポーツ事業の開催数も厳しいコロナ禍で前年度よりも 13 回も増加したことについては高く評価します。また、人口減少とともに競技人口が減少する中で、体育協会加盟団体数を維持し、活動を継続している関係者の努力に敬意を表します。今後とも生涯スポーツ事業の開催や青少年のスポーツ指導者の育成や発掘に尽力されることを願います。

④ スポーツ環境の充実

- 体育施設整備進捗率、スポーツ情報の提供、スポーツ関係情報交換会開催回数ともに必要に応じた対応・取り組みがなされており成果もでています。今後とも継続しての事業推進に期待します。

令和4年9月27日

柏 田 正

(一 瀬 薫 氏)

西海市教育委員会が令和3年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、5つの重点政策・16の施策で策定された「第二期西海市教育振興基本計画」の目標達成のために、マネジメントサイクルに則り、具体的な方策のもと継続実践されており、確実に成果をあげられていることに敬意を表します。いずれの事業も西海市の教育振興に向けて必要不可欠な取組であり、西海市教育委員会が学校や家庭、地域の様々な教育課題の解決に向けて真摯に事業に取り組む様子を点検・評価報告書から十分に知ることができます。

新型コロナウイルス感染症が収まり切らない中での事業推進は大変なご苦労があったことと思います。様々な工夫を凝らし可能な限り着実に事業を推進していることに敬意を表します。ICTの授業での活用、電子図書の購入やリモート講座・研修の実施等、安心して学ぶことができる学習環境づくりにも尽力され心強く思います。

今後とも、豊かな自然を愛し、生涯にわたり学び続けることができる「教育の里」づくりに努めてください。

以下、特に指摘をしておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

コロナ禍の中、学校行事、市や地域の各種行事に多数参加し、子供たちや地域の状況、市民のニーズの把握に努め、「顔の見える教育委員会」として活発に活動されています。その真摯な態度を高く評価します。なお、教育委員会の会議録のウェブ配信は、説明責任と透明性の確保の点で称賛に値します。

また、会議傍聴者の増加は、市民の教育行政への強い関心・期待の表れであります。教育委員会の活動の一層の可視化が図られることを望みます。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされております。特記する事項はありません。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 生きる力を育む学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

○ 各学校が「授業実践の視点」や学力向上プランに基づき、教育委員会指導主事の指導を受けながら常に授業改善に努めていることは、大いに評価できます。

○ 家庭学習の習慣化は確かな学力の定着、そして学びに向かう力の醸成のためにも最重要課題と感じます。特に、中3の達成率が低調であることは心配です。学力向上プロジェクト・小中連携検討チームを中心にした取組や家庭や生徒会と連携した取り組みを確実なものとして成果を残すことが望まれます。

○ 特別支援教育については、教職員対象の研修会の実施や特別支援教育補助員の配置等手厚く対応されており評価できます。今後も、関係機関と連携しながら、保護者の十分な理解のもと、子供たちのニーズに応じた特別支援教育の推進を図ってください。

- A L Tの配置や英語教育指導員の派遣により、英語教育の推進が図られておりすばらしいと思います。また、全ての中学生に英検を受験させることは、英語力の向上のみならず、学びに向かう力の醸成に結びつくとても意義ある取り組みだと思います。英語教育の推進は本市の特徴の一つです。全生徒に毎日の家庭学習として取りませせる等の手段を講じ、成果が挙げられることを期待します。継続を強く望みます。
 - コミュニティ・スクールの配置については、新たに4校が設置され、「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえながら、「地域とともにある、特色ある学校づくり」が着実に推進されています。
- ② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進
- 県教育委員会から講師を招いて研修会を実施するなど、道徳教育に関する研修の推進がなされています。なお、講義のみにとどまらず、各学校における道徳教育の推進状況について情報交換・協議を取り入れたことは意義あることです。また、様々な体験活動やボランティア活動と関連させて、道徳的実践力を育もうと取り組んでいることも評価できます。「特別の教科 道徳」の趣旨や理論の実現を図るためにも、課題について自分ごととして捉え、「考え、議論する道徳」への転換に向けた取組を支援されるようお願いいたします。
 - 地域を学ぶ副教材の作成・活用や西海学の展開は、それぞれの地域のよさを再発見し、郷土に対する誇りと愛情を育み、将来への夢や憧れ・志をふくらませることに繋がる取組だと大いに評価できます。
 - 不登校児童生徒の改善率が低下していることは残念ですが、専門家の配置や相談体制の整備を図り懸命に取り組まれていることに敬意を表します。不登校には様々な要因があり、改善は容易ではありませんが、引き続き児童生徒の立場に立った支援をお願いします。
- ③ 健康で安全な学校生活の実現
- 感染症予防の観点からも、基本的な生活習慣の定着は大変重要です。西海市が進める統一的な素晴らしい取り組み「は・あ・と・ふ・る」運動とつなげながら、健康で安全な学校生活の推進に努めてください。
- ④ 教職員の資質の向上
- 研究発表会・研修会の開催や指導主事及び教科等指導員の学校への派遣・指導に尽力されていることに敬意を表します。また、各省令主任や分掌担当者の研修会を開催し、協議や情報交換を通してそれぞれの役割意識や学校運営への参画意識を高められたことは意義あることだと思います。市内全ての小中学校が「チーム学校」として輝くことと思います。
 - 教育の情報化が進んでいます。児童（生徒）のICT活用を指導する能力の向上については、夏季研修等にも位置づけられています。情報モラルについて指導する能力の研修にも油断なく力を入れてください。

⑤ 幼児教育の推進

- 幼・保・認こ・小の合同研修会の開催はとても意義あることと思います。その姿勢を高く評価します。せっかくの計画が、コロナ禍の影響で実施できなかったことは残念でした。記載のように、今後は常にオンラインで対応していく準備も必要かと思います。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- コロナ禍のもと、社会教育講座を28講座251回実施し、延べ3,694名の参加を得たことは大いに評価できます。各世代のライフステージに対応した学習機会の充実を図るため、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を実施したいという視点を持っていることも素晴らしいと思います。

② 公民館活動の活性化

- 引き続き「自治公民館モデル事業」を活用して、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりに尽力してください。また、地域住民のニーズや課題を把握しながら、魅力ある学習講座の展開を図ってください。

各地区の社会教育施設の経年劣化が進み対応が大変だと思えます。計画的に施設の改修や学習環境の整備に努めてください。

③ 図書サービスの向上

- コロナ禍が収まり切らないという難しい状況の中、市民に親しまれ・利用しやすい公立図書館（室）を目指し、様々な取り組みが実施されており敬意を表します。電子図書館の運用も始まりました。電子図書の購入・更新には大きな予算が伴いご苦労が絶えないと思いますが、今後も市民のニーズに応える図書館（室）運営に努めてください。

④ 人権・同和教育の推進

- 「人権啓発作品コンクール」において1,686点の作品の応募があったことは、本市における人権教育が浸透していることの証です。今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図ってください。

- 「いじめはどの学校でも起こり得るもの」「誰もが被害者にも加害者にもなり得る」の認識のもと、いじめの早期発見・早期解決を標榜しています。この姿勢を大いに評価します。各学校における定期的なアンケートの実施と相談体制の確立を通して、「いじめ見逃しゼロ」の安心して学べる学級・学校づくりに取り組んで欲しいと思います。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- 情報化が進展し個々の価値観が多様化する中で、保護者が抱える子育ての悩みは複雑化しています。家庭教育学級での学びや市民総がかりの教育支援が必要です。成果指標を掲げ推進していることを評価します。

② 青少年の健全育成

- 西海市独自の「は・あ・と・ふ・る運動」を中心とした健全育成事業が実践されとても素晴らしいです。「は・あ・と・ふ・る運動」については、活動推進校を指定しての取組は大変有効だと思います。今後関係団体とさらに連携・情報共有を図りながら事業を展開して欲しいと思います。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心して望ましい教育環境の実現

- 児童の登下校の見守りが保護者や地域の方々の連携のもと 100%の成果を挙げていることは本当に素晴らしいことです。安心・安全の確保のうえからだけでなく、多くの人から見守られているという子供たちの安心感はとても大きなものがあると思います。
- 「放課後子ども教室」や「土曜学習」の実施を通して子供たちに安心・安全な居場所と学習の場の提供がなされていることは大いに評価できます。また、体験学習を実施したり等の内容の工夫・充実も見られ、子供たちは幸せだと思います。本市においては、昔から「地域の子供は地域で育てる」というよき教育風土が継承されています。嬉しいことです。今後も事業の推進・充実を期待します。
- G I G Aスクール構想の実現に向け、各小中学校の高速・大容量通信ネットワークおよび1人1台の端末の整備等に確実に対応されています。I C Tを活用した教育の推進が図られていることに敬意を表します。
効果的な活用事例の発信や情報端末の安全で充実した活用等、課題も多いと思います。教育委員会の情報発信と指導・支援に期待します。
タブレットや情報機器の安全で有効な活用については、保護者（P T A）と学校職員が一緒になった研修会等の実施も有効ではないかと思えます。

② 安全で快適な教育施設の整備

- 予算の確保が伴いますが、引き続き子供目線での安心安全な望ましい教育環境の整備に努めてください。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

- コロナ禍の中での各種事業の開催はご苦労が多いものと思います。今後も工夫を凝らしながら with コロナ時代の文化・芸術・スポーツの振興に努めてください。

② 文化財の保存・保護・活用

- 大瀬戸民俗資料館への学芸員と崎戸民俗資料館への事務員2名の配置は大変価値あることだと思います。炭坑産業の歴史については、市民も知らない方が多いのではないかと思います。本市の文化財の調査・整備と情報発信に一層努めてください。学芸員の小中学校への派遣事業も検討されてはいかがでしょうか。
- 地域に残る伝統文化等の継承が危ぶまれる状況にあります。大きな事業になりますが、年次計画でデジタル映像化を図り、保存・継承に取り組むことを望みます。

③ 活力あるスポーツの振興

- 生涯スポーツの観点からも、子供も高齢者も楽しくスポーツに触れる機会や場づくり等に尽力ください。

④ スポーツ環境の充実

- 施設の老朽化が進んでいるところは、年次計画に基づき整備充実を図ってください。改修に当たっては、高齢者・障害者等市民が積極的に参加・使用しやすい施設・設備になるよう努めてください。

令和4年9月30日

一瀬 薫

Ⅲ 自己点検・評価一覧表

1 教育委員会の活動状況について

中項目	小項目	3年度	2年度	内容等
1 教育委員会 会の構成	① 構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者 1名
	② 平均年齢	62歳	61歳	49歳・1名、62歳・1名 62歳・1名、65歳・1名 73歳・1名 (令和4年3月31日現在)
	③ 性別	男性 3名 女性 2名	男性 3名 女性 2名	
2 教育委員会 会議の運 営及び情報 発信	① 会議開催数	12回	13回	定例教育委員会を12回開催した。
	② 会議傍聴者数	7人	3人	教育委員会会議の開催について、市 ウェブサイト上に掲載するなど会議 開催の周知を図った。
	③ 会議録の公表 状況	12件	13件	教育委員会会議録を市ウェブサイト で公開した。
3 市長との 連携	① 意見交換会の 状況	2回	2回	7/21、10/19に開催された総合教育会 議において、市長との意見交換を実 施した。
4 教育機関 等との連携	① 学校への訪問	20回	13回	別紙のとおり、20回の学校訪問を行 い、延べ数で52名の教育委員の出 席があった。
	② その他社会教 育施設への訪問	0回	0回	新型コロナウイルス感染症の影響で 中止
	③ 長崎県教育委 員会との意見交 換	0回	0回	新型コロナウイルス感染症の影響で 中止
5 教育委員 の自己研鑽	① 研修会への 参加状況	0回	0回	新型コロナウイルス感染症の影響で 中止

小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
令和3年4月7日	水	市内小学校	3名	入学式
令和3年4月7日	水	市内中学校	4名	入学式
令和3年7月7日	水	西海小学校	1名	学校訪問
令和3年7月7日	水	大瀬戸中学校	1名	学校訪問
令和3年7月14日	水	江島小中学校	1名	学校訪問
令和3年7月14日	水	平島小中学校	1名	学校訪問
令和3年10月29日	金	大瀬戸小学校	4名	学校訪問
令和3年11月4日	木	西海北小学校	5名	学校訪問
令和3年11月12日	金	大瀬戸中学校	1名	研究発表
令和3年11月16日	火	大崎中学校	3名	学校訪問
令和3年11月25日	木	西海小学校	1名	研究発表
令和3年11月26日	金	西海東小学校	1名	研究発表
令和4年1月27日	木	大串小学校	1名	研究発表
令和4年1月27日	木	西彼中学校	1名	研究発表
令和4年3月12日	土	大島東小学校	3名	閉校式
令和4年3月13日	日	大島西小学校	3名	閉校式
令和4年3月13日	日	崎戸小学校	3名	閉校式
令和4年3月15日	火	市内小学校	5名	卒業式
令和4年3月17日	木	市内中学校	5名	卒業式
計			47名	

その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備考
令和3年12月23日	木	社会教育委員との意見交換会	5名	
計			5名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
—	—	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	—	中止
—	—	長崎県市町村教育委員研究大会	—	中止
計			—	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
—	—	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	—	中止
—	—	九州地区市町村教育委員会研修大会	—	中止
—	—	長崎県市町村教育委員研究大会	—	中止
計			—	

2 教育委員会が管理・執行する事務について

中項目		活動指標	3年度	2年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	3件	2件	西海市教育振興基本計画の改定、大崎地区審議会の答申について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	28件	25件	教育委員会規則9件、告示13件、訓令6件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	0件	1件	令和3年度該当なし。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	1件	1件	市内小中学校教職員の人事異動等について検討した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	1件	1件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	7件	9件	当初予算及び補正予算について検討した。
		条例関係検討件数	3件	4件	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例他2件の提案について検討した。
		その他検討件数	1件	0件	社会教育課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて検討した。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	2件	0件	西海市スクールバスの運行区域以外の運行について検討した。
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1件	1件	令和4年度使用中学校教科用図書「社会科」(歴史的分野)の採択について検討した。

中項目		活動指標	3年度	2年度	内容等
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	0件	0件	令和3年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	検討件数	29件	26件	西海市いじめ等調査委員会委員等の委嘱について検討した。
11	市文化財の指定又は解除に関する事	検討件数	0件	0件	令和3年度該当なし。
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	0件	0件	令和3年度該当なし。
13	1件1,000万円を超える事業計画に関する事	検討件数	2件	4件	令和3年度に実施する大型事業について検討した。
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行う事	申出件数	4件	4件	教育財産の用途廃止3件他1件について検討した。
15	その他	検討件数	2件	1件	教育文化スポーツ功労表彰他1件について検討した。
	計		84件	79件	

(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第23号	西海市いじめ等調査委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第24号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第25号	学校運営協議会委員(西海市立西海小学校及び西海市立江島小中学校)の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第26号	西海市立小・中学校省令主任の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第27号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第28号	西海市公立公民館公衆無線LANサービスの利用に関する要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第29号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第30号	令和3年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 可決	13
第5回 定例会	議案	第31号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第32号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第33号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第34号	学校運営協議会委員(西海市立大瀬戸小学校及び西海市立大串小学校)の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第35号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第36号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第37号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第38号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第39号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第40号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第41号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第42号	西海市小中学校適正配置等審議会(大崎地区審議会)委員及び分科会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第43号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員設置要綱及び西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第44号	西海市教育委員会学習用パソコン貸与規程の制定について	原案 可決	2
議案	第45号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第2号)	原案 可決	6	
報告	第1号	令和2年度教育費補正予算(第9号)について	原案 承認	6	
第6回 定例会	議案	第46号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案 可決	10

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第6回 定例会	議案	第47号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第48号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第49号	教育財産の用途廃止について(崎戸小学校屋内運動場、渡り廊下)	原案可決	14
	議案	第50号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第51号	西海市文化財保護事業補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
	議案	第52号	西海市学習用通信機器支援補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
	議案	第53号	西海市高等学校入学支援事業補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
	議案	第54号	西海市内高等学校魅力向上支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第55号	令和3年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案可決	13
第7回 定例会	議案	第56号	西海市教育振興基本計画の改定について	原案可決	1
	議案	第57号	西海市教育振興基本計画策定委員会委員の任命について	原案可決	10
	議案	第58号	学校運営協議会委員(西海市立平島小中学校)の委嘱について	原案可決	10
	議案	第59号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第60号	西海市図書館協議会委員の委嘱について	原案可決	10
	報告	第2号	社会教育課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	原案承認	6
第8回 定例会	議案	第61号	令和2年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続審議	-
	議案	第62号	西海市小中学校適正配置等審議会(大崎地区審議会)委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第63号	令和4年度使用中学校教科用図書「社会科」(歴史的分野)の採択について	原案可決	8
第9回 定例会	議案	第64号	教育財産の用途廃止について(雪浦小学校管理用地)	原案可決	14
	議案	第65号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	報告	第3号	令和3年度教育費補正予算(第4号)に係る臨時代理の承認について	原案承認	6
	報告	第4号	西海市スクールバスの運行区域以外の運行に係る臨時代理の承認について	原案承認	7
	報告	第5号	令和2年度西海市一般会計(教育費)決算認定について	原案承認	6
第10回 定例会	議案	第61号	令和2年度西海市教育委員会自己点検・評価について	修正可決	5
	議案	第66号	教育財産の用途廃止について(雪浦運動場)	原案可決	14
	議案	第67号	西海市学習用通信機器整備支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	報告	第6号	西海市スクールバスの運行区域以外の運行に係る臨時代理の承認について	原案承認	7

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第11回 定例会	議案	第68号	西海市学校薬剤師の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第69号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案 可決	6
	議案	第70号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第6号)	原案 可決	6
	議案	第71号	西海市適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
第12回 定例会	議案	第72号	令和3年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案 可決	15
第1回 定例会	報告	第1号	大崎地区審議会の答申について	原案 承認	1
第2回 定例会	議案	第1号	西海市学校医の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第2号	西海市教育振興基本計画の改定について	原案 可決	1
	議案	第3号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市史跡ホグット石鍋製作遺跡保存活用計画策定委員会設置条例の制定について)	原案 可決	6
	議案	第4号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案 可決	6
	議案	第5号	西海市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第6号	崎戸町江島地区及び同平島地区の小学校及び中学校の給食費の月額について	原案 可決	15
	議案	第7号	西海市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第8号	西海市立学校教職員人事評価結果に係る苦情相談・苦情処理実施要項の制定について	原案 可決	2
	議案	第9号	西海市立学校教職員苦情等審査会実施要領の制定について	原案 可決	2
	議案	第10号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第11号)	原案 可決	6
	議案	第11号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(令和4年度教育費予算)	原案 可決	6
	議案	第12号	令和4年度教職員人事異動について	原案 可決	4
第3回 定例会	議案	第13号	西海市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第14号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第15号	教育財産の用途廃止及び用途変更について	原案 可決	14
	議案	第16号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第17号	西海市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第18号	西海市文化財保護審議会規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第19号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	取り 下げ	-
	議案	第20号	西海市奨学資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第3回 定例会	議案	第21号	西海市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第22号	西海市通学路安全推進会議設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第23号	西海市中学校部活動補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第24号	西海市子ども体験活動事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第25号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第26号	西海市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第27号	西海市教育委員会文書規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第28号	西海市通学支援員設置規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第29号	西海市教育委員会職員の自家用車の公務使用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	取り 下げ	-
	議案	第30号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	取り 下げ	-

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善				
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	100%	—
事業内容・成果	平成27年2月に作成（令和元年12月改訂）した「授業実践の視点」や各種学力調査結果に基づいた各学校の学力向上プラン等を基に、研究授業を全ての教員が年間2回以上行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで授業改善を図った。			評価	A
課題・方向性	学力向上は本市の重要課題である。西海市A Iプラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	キャリア教育の推進				
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった子供を育てるために、計画的な進路指導、キャリア教育の充実を図った。これに関連して「ようこそ先輩事業」を活用した講演が中学校で1件実施された。令和元年度からキャリア・パスポートを作成し活用している。			評価	A
課題・方向性	社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる児童生徒を育成するため、計画的にキャリア教育に取り組む。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実				
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中：－	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	指標となる調査が5年に一度となつたため調査未実施	小低：100% 小高：100% 中：100%	－
事業内容・成果	児童生徒の家庭学習の充実に向け、学力向上プロジェクト小・中連携検討チームを中心に対策を考え、各学校とPTAが連携しながら進めている。			評価	C
課題・方向性	令和3年度は、指標の対象となる家庭学習調査が未実施であるため、代わりに全国学力・学習状況調査における小6・中3の家庭学習の結果を見ると、小6の達成率は57.9%、中3の達成率は14.9%となっており、目標値を大きく下回っている。今後は、小・中連携の取組を強化するとともに、1人1台端末を効果的に活用していくことが必要である。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	特別支援教育の充実				
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実				
成果指標	研修の充実度				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	－	99%	100%	100%	－
事業内容・成果	西海市教職員夏季研修（特別支援教育）では市内小・中学校から77名が参加し、鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室の特別支援教育コーディネーターによる講義を通して研修を深めた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会、学習支援員研修会においても県配置のスクールカウンセラーを講師として招き、研修の充実を図った。			評価	A
課題・方向性	教職員の特別支援教育への理解や経験、指導力は年々高まってきているため、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、研修内容の充実に努める。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	校内支援体制の充実					
成果指標	学習支援員配置充足度					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	85%	100%	100%	100%	18,330	
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、学習支援員を10小学校、4中学校に、計21名を配置した。				評価	A
課題・方向性	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童は年々増加傾向にあり、学校からの要望数も多くなってきている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じて適切に配置する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	相談体制の充実					
成果指標	専門機関との連携回数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	11回	8回	8回	12回	—	
事業内容・成果	西海市就学相談会2回、就学支援委員会3回、療育機関就学ガイダンス3回、計8回の連携を行っている。また、各学校においては地域支援事業を活用した、特別支援学校への相談も積極的に行っており相談体制の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	今後も専門機関との連携を積極的に行い、相談体制の充実を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	35%	35%	60%	17,382	
事業内容・成果	英語を母語とする5名のALTを全小中学校、こども園に配置し、英語教育の充実を図った。また、1名の英語教育指導員を小学校に派遣することにより、小学校外国語活動の充実を図った。さらに、小・中対象のエンジョイ・イングリッシュにおけるコミュニケーション活動、全中学生対象の英検受検により、英語力向上を図った。				評価	B
課題・方向性	英語指導助手のより効果的な活用法、エンジョイ・イングリッシュや英検の取組を授業や家庭学習といかに連携させて効果を高めるかについて検証し、外国語活動、外国語科、英語科の指導者と共有を図る必要がある。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進					
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0校	1校	5校	2校	322	
事業内容・成果	「地域共同社会」として発展してきた本市の良さを生かしながら、地域・保護者・学校・教育委員会が協力して、コミュニティ・スクールの形成に向けた準備・研究を進めてきた。 西海市学校運営協議会規則を制定し、大瀬戸小学校に設置のコミュニティ・スクールをモデルに市内4校に設置し、伴走支援を行った。				評価	A
課題・方向性	大瀬戸小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールの設置・充実を推進する。その他の学校においても「地域とともにある、特色ある学校づくり」に向け、準備・研究を進めていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	道徳教育の充実				
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進				
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1回	0回	1回	継続	—
事業内容・成果	小学校及び特別支援学校小学部では平成30年度から、中学校及び特別支援学校中学部では、令和元年度から「特別の教科 道徳」が全面実施された。令和3年度は県教育庁義務教育課から講師を招いて、教職員を対象に研修会を実施し、道徳教育の推進を図った。			評価	A
課題・方向性	研修会において、講義のみではなく、各学校における道徳教育の推進状況についての情報交換・協議を行う。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	道徳教育の充実				
施策の方向性	研究授業を中心とした授業の質の向上				
成果指標	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	88%	100%	—
事業内容・成果	学校公開日、心を見つめる教育週間等で公開される授業を中心に、協議や指導の場を位置付けるよう働きかけることで、道徳授業の質の向上を目指す。			評価	B
課題・方向性	実施できなかった学校があった。道徳授業の充実に向けて、年に1回以上の道徳科研究授業、授業研究会を実施することの意義について働きかけ、共通実践事項として全小中学校で確実に共有を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育の場の充実					
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	各学校の教育方針に基づき、道徳的価値に関する体験的な学習等を取り入れることで、道徳的諸価値の理解につながる力を育んだ。				評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、これからの活動や目標が見つけられるよう、職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動や情操を育む活動を積極的に活用するとともに、地域の人々や保護者から積極的に授業の参加協力を得たり、道徳教育推進教師との連携を図ったりして、計画的な指導を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実					
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	継続	1,452	
事業内容・成果	市内小学校3年生（204人）、市内中学1年生（207人）に配付し、授業で活用することで、郷土を誇り、ふるさとを愛する西海市の子供の育成に努めた。				評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、最新の情報を収集して、副教材を再編集し、内容の充実を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進				
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開				
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	38%	15%	継続	12
事業内容・成果	各小学校の実情や地域の特色に応じて内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開し、それに対する支援を行った。統廃合を控えた1校を除き、全ての学校が計画を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、小学校13校中、2校の実施となった。			評価	B
課題・方向性	各小学校の創意工夫による「西海学」の展開により、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深められるようにする。令和4年度も、事業内容を再確認し、全小学校で実施できるようにする。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	読書活動の推進				
施策の方向性	平日の読書習慣の確立				
成果指標	平日の読書時間の割合（1日30分以上）				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：39.2% 中3：29.3%	小6：34.2% 中3：26.4%	小6：70% 中3：50%	—
事業内容・成果	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置により、図書フェアをはじめとする読書活動の推進を図る様々な創意工夫ある企画の実施に加え、季節に合わせた図書館内の装飾等が充実し、図書館が児童生徒にとって常に居心地の良い場所として整備されていた。そのことが、児童生徒の読書習慣の確立につながっている。			評価	B
課題・方向性	図書主任、学校図書館司書等への指導を通して、ブックトークや読み語り等に取り組むことで本の世界を広げ、家庭読書の啓発を図っていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	読書活動の推進				
施策の方向性	蔵書率の充足				
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：119.4% 中：99.1%	小：120.7% 中：126.4%	小：105.1% 中：112.9%	小：100% 中：100%	3,723
事業内容・成果	西海市学校図書館運営マニュアルに基づき、各学校で蔵書点検を行っている。その際、学校図書館図書廃棄基準を参考に、図書の廃棄作業を進め、児童生徒に必要な図書の整備を図っている。			評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、読書活動の推進を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	読書活動の推進				
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実				
成果指標	学校図書司書等の配置人数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	10人	9人	9人	継続	11,506
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に学校図書館司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。雪浦小学校については、大瀬戸中学校との兼務として、学校図書館運営の充実を図った。			評価	A
課題・方向性	学校図書館司書の定期的な研修会（月1回）を通して、図書館教育への理解を深め、読書活動のより一層の充実を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	教育相談体制の整備				
成果指標	不登校児童生徒の改善率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	50%	55%	29%	95%	5,297
事業内容・成果	心の教室相談員を本土部4中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援を充実させている。悩みを抱える生徒が心の教室を訪れ、相談員と話をしたり、不登校の生徒が、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの関わりによって、状況の改善が見られたりしている。			評価	C
課題・方向性	近年は不登校の要因が多様化している傾向にある。今後は、学校と専門機関との日ごろからの連携を一層強化し、不登校児童生徒やその保護者が必要な支援を得ることができるよう、相談体制の充実、未然防止や早期解決につながる積極的な支援に力を入れていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	「適応指導教室」の充実				
成果指標	適応指導教室指導員の研修の受講回数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2回	3回	3回	3回	2,204
事業内容・成果	大島地区に開設している「適応指導教室」における指導・支援の向上を図るため、指導員の研修を充実させた。令和3年度、指導員は、長崎県教育委員会主催の研修1回と長崎県教育センター主催の研修2回を受講した。			評価	A
課題・方向性	今後も、担当者が積極的に研修を受講し、指導・支援の向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：98.7% 中：96.8%	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	小：95.3% 中：95.9%	小：100% 中：100%	—
事業内容・成果	令和元年度の成果と比較すると割合は減少しているが、朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は高い水準を保っている。			評価	B
課題・方向性	「は・あ・と・ふ・る運動」とつなげながら家庭と連携し、朝ご飯を食べて登校する児童・生徒100%を目指す。 西海小学校を研究指定校として、PTAと連携した取組を推進した。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	う歯罹患者の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：17.2% 中：39.1%	小：7.1% 中：28.4%	小：7.6% 中：23.8%	小：16% 中：35%	—
事業内容・成果	う歯罹患者の割合は、目標値よりも低く、小学校、中学校ともに改善している。			評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	安全教育の推進				
成果指標	避難訓練の実施率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。			評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校体育の充実と体力の向上				
施策の方向性	児童生徒の体力の向上				
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	46.7%	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	64.7%	50%	—
事業内容・成果	令和3年度の結果において、持久力や筋力については、多くの学校で全国平均を上回っている。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動として行うことで改善がみられている。			評価	A
課題・方向性	(平成30年度までは、全学年の調査報告であったが、令和元年度から、調査報告の対象学年が小5と中2とされた。) 令和3年度の結果において、上体起こしや長座体前屈の種目で全国平均を下回っているため、継続した取組が必要であり、児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画及び実践を行う。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校体育の充実と体力の向上				
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上				
成果指標	部活動指導者講習会の実施				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回	2回	2回	2回	—
事業内容・成果	部活動指導や社会体育の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するための部活動等の指導と環境づくりのあり方についての講習を受け、指導力及び資質を高めることを目的としている。8月はスポーツメンタルコーチを招聘して、2月はアスレティックトレーナーを招聘しての研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料配布に変更した。			評価	A
課題・方向性	令和4年度も、講師を招聘し、講義・実技指導を中心とした研修会を実施し、引き続き、教職員、部活動指導員及び社会体育の指導に携わる者の指導力及び資質向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	安全な食材の確保				
成果指標	西海市産の農産物の使用率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	59.5%	53.1%	75.9%	70%	—
事業内容・成果	地元の食材を有効に活用することができた。しかし、農作物の確保は天候等に左右されたり、作業工程が煩雑になるなど、継続が難しい場合もある。令和2年度は、地元の食材が豊富な4、5月に臨時休業が実施されたことも使用率の低下につながったが、今年度は使用率が向上し、県の平均も上回った。			評価	A
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	食育の推進				
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	85.7%	68.0%	68.4%	100%	—
事業内容・成果	学校において、全職員で食育を推進し、児童生徒が食に関する理解を深めるような実践を行った。地元食材や県産品を使った献立の工夫が見られた。行事については、教育課程に位置付けながらも、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を断念する学校があった。			評価	B
課題・方向性	家庭と地域が連携した食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高める取組を継続する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	施設、設備の充実				
成果指標	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1箇所	0箇所	0箇所	2箇所	—
事業内容・成果	施設内の老朽化による修繕や備品等の購入は行ったが、大規模改修は行わなかった。			評価	C
課題・方向性	大規模改修が必要と判断される箇所はなかったが、食の安全確保のために、引き続き、現行施設の点検を実施し、必要な整備等の措置を講じていく。なお、大規模改修の実施については、現行施設に代わる「防災食育センター」の整備を進めることを考慮し、その必要性を見極めたい。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	学校給食施設の適正化				
成果指標	学校給食共同調理場の適正化				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	未策定	策定済	策定済	計画策定	—
事業内容・成果	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき、財源については、防衛交付金を活用し、防災機能を有した「防災食育センター」として整備することとして、九州防衛局と協議を行った。			評価	A
課題・方向性	引き続き、市長部局と連携して事業を実施していく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				
主要事業	教職員研修の充実				
施策の方向性	定期研修会の充実				
成果指標	定期研修会での充実度割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	90%	—
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、それぞれが果たすべき役割について確認したの課題への対応についてグループ協議や情報交換等を位置付けて実施することにより、それぞれの役割意識や学校運営への参画意識を高めることができた。			評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援教育コーディネーター等を対象とした定期研修会の内容について、国や県の動向を注視しながら本市に必要なものをテーマとして取り上げ、ニーズに応じた効果的な研修を展開できるようにしていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				
主要事業	教職員研修の充実				
施策の方向性	選択制研修会の充実				
成果指標	選択制研修会の実施回数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	4回	4回	4回	5回	—
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、選択研修では「特別支援教育」「保健指導（不登校等対応）」「タブレット活用」の3つの研修会を実施した。全体研修では「学びの土台づくり」の講演会をオンラインで開催し、後日DVDを各学校に配布し視聴できるようにした。			評価	A
課題・方向性	夏季休業期間は教職員にとって絶好の研修機会であるとともに、心身のリフレッシュのための重要な期間である。そのため、今後は、単に研修会を増やすよりも、一つ一つの研修会の意義と参加者のニーズに応じて内容をより一層充実させていくことが必要である。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				
主要事業	校内研修の推進				
施策の方向性	校内研修の充実				
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	52回	60回	58回	50回	—
事業内容・成果	令和3年度は、各学校の研究内容に応じて指導主事を32回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ26回実施した。			評価	A
課題・方向性	指導主事や教科等指導員を派遣し、校内研修や学校訪問等で指導助言を行い、教職員の指導力向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	研究指定校の支援					
成果指標	研究指定校数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	5校	6校	7校	6校	600	
事業内容・成果	令和3年度は、研究指定校を7校指定し、各校における研究を深めた。また、研究の成果・課題を市全体で共有できるように、4校において研究発表会を開催した。				評価	A
課題・方向性	教育課題に対応した研究を行う研究指定校に対する支援を充実し、研究を深めるとともに、その成果・課題を市全体で共有し、各学校の教育力を高める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進					
成果指標	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や引継ぎ、行事での交流等を小学校単位で計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかったものもある。しかし、引継ぎ等、職員同士の情報交換はできた。				評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の職員同士の情報交換や交流学习を推進し連携を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼・保・認こ・小の教職員の合同研修の機会の充実					
成果指標	幼・保・認こ・小の教職員合同研修の実施回数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	0回	継続	—	
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。 令和3年度は、特別支援教育研修会を幼・保・認こ・小・中・高合同で開催するため、計画と案内文書発送まで行っていたが、新型コロナウイルス感染者増加のため、中止、書面研修となった。次年度は、オンライン研修会として計画予定である。				評価	C
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員が参加できるような体制づくりや、共有すべき内容について研究し、実施に向けた準備を今後も継続する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼児教育への支援					
施策の方向性	教職員の資質向上に向けた研修体制確立					
成果指標	研修会の年間実施回数（回）					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	2回	1回	—	
事業内容・成果	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員の資質向上研修について、西九州させば広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」を受け、市内小学校及び幼保認この希望する職員が年に2回の研修に参加した。				評価	A
課題・方向性	西九州させば広域都市圏事業への参加が教職員の資質向上につながる研修となることを幼稚園・保育所（園）・認定こども園に周知するとともに、参加への支援を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	社会教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	15講座	19講座	28講座	継続	1,221	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を断念した講座もあったが、各世代のライフステージや現代的課題に対応した学習機会の充実を図るために、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を28講座計251回実施し、延べ3,694名の参加を得た。				評価	A
課題・方向性	平日開催の講座では受講者の偏りが見られるため、若年層を含む幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい学習講座や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図ることが必要である。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	年間1施設	年間1施設	年間2施設	13,579	
事業内容・成果	雪浦地区公民館について、経年劣化箇所（受変電設備）の改修を実施し、施設の長寿命化とあわせ、利便性に配慮した施設の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館及び図書館等）については、経年劣化が著しいため、長寿命化計画及び施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	図書システム運用の充実					
成果指標	図書館システムの導入					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2館 3室	2館 3室	2館 3室	継続	2,558	
事業内容・成果	図書館システム導入により、市内全ての図書館蔵書を把握することができている。その結果、市内間における相互貸借数が可能となり市民サービスの向上が図れている。				評価	A
課題・方向性	図書システムを活用した図書館（室）利用について、様々な機会を通じて周知を図り、身近な施設として利用者にとって利便性のある運営を目指す。また、教育委員会内に設置している図書システムサーバーについては、作動状況点検等の適正管理を行っていく。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	クロスねつとを活用したサービスの充実					
成果指標	長崎図書クロスねつとへの検索サービス					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2館 3室	0館 0室	0館 0室	継続	—	
事業内容・成果	県立長崎図書館を中心としたクロスねつと（横断検索）が利用できなくなっているため、市民サービスの低下に繋がらないよう民間会社が運営する図書館の蔵書を横断的に検索できるカーリル（他サービス）を活用し相互貸借に努めた。				評価	B
課題・方向性	市内の図書館（室）に蔵書がなくても、従来のクロスねつとだけでなく、カーリルを活用して県内外の図書館との相互貸借サービスが受けられる旨の周知を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	32,879人	25,652人	28,605人	33,500人	—	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、臨時休館等余儀なくされ、利用者の減少となった。感染症対策を十分に図り、利用者に親しまれる公立図書館（室）を目指し、館内における季節ごとのレイアウト変更及び周知広報等を含めた事業展開と図書除菌機と電子図書館を導入した。 (利用者内訳 来館利用者数27,519人＋電子図書館閲覧数1,086人)				評価	B
課題・方向性	利用者の多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、各図書館（室）職員の各種研修に努め、レファレンス機能の充実や周知広報等も含めた事業展開を図っていく。また、電子図書館と実物の図書館との両輪でサービスを拡充するためコンテンツ充実、周知等を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	貸出資料数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	117,254冊	109,285冊	109,759冊	119,000冊	—	
事業内容・成果	各図書館（室）での貸出に限らず、公立図書館（室）から「身近に本を届ける支援サービス」の一環として、学校や幼稚園、保育所等へ移動図書サービスや団体貸出、学級文庫への貸出を実施した。また、電子図書館を導入し、実物以外の図書の貸し出しを開始しサービスの拡充を図った。（貸出冊数内訳 実図書館貸出し冊数109,271冊＋電子図書館冊数488冊）				評価	B
課題・方向性	各図書館（室）の利用者ニーズに対応した選書、読書相談・レファレンス・読み語りを実施し、各館（室）とも地域に応じ幅広い蔵書の充実を図るとともに電子図書館の内容充実、市独自の独自資料の掲載等の利用推進の周知を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				
主要事業	図書サービスの向上				
施策の方向性	図書ボランティアの推進				
成果指標	図書ボランティア数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	5人	10人	10人	18人	—
事業内容・成果	地域に密着した読み語り等の促進に向け、おはなし会やおたのしみ会など図書館でのイベントの際に図書ボランティア活動の周知や募集告知を図るものであるが、年間を通しておはなし会等イベントを自粛したため人数の増加はなかった。			評価	B
課題・方向性	読書活動に精通した図書ボランティアを確保するため、継続的に養成講座を開設するとともに、実践活動における体制づくりを構築するための研究を行う必要がある。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				
主要事業	子どもの読書活動の充実				
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進				
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	329
事業内容・成果	子ども読書活動推進計画に基づき、絵本を通じた親子のコミュニケーションの機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、読書習慣の醸成を図った。			評価	A
課題・方向性	今後も、「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				
主要事業	子どもの読書活動の充実				
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進				
成果指標	図書館まつりの開催				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1回	0回	0回	継続	—
事業内容・成果	年に一度開催している『図書館まつり』において、人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などを実施して本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会を設けていたが、本年度についても新型コロナウイルス感染症対策により中止とした。			評価	C
課題・方向性	「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、また、新しい生活様式を取り入れた形で読書の楽しさや本に親しむ機会の提供を行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化				
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上				
施策の方向性	自治公民館への支援				
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	5館	6館	7館	10館	886
事業内容・成果	本事業により、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。市内自治公民館71館のうち13館が本事業を申請し、新型コロナウイルス感染拡大の中、7館が事業を実施することができた。本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。			評価	B
課題・方向性	本事業を活用した取組については、先進的な活動を促すとともに未活用の館にも情報提供することにより、本事業の更なる積極的な活用について周知のための広報を行っていく必要がある。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実					
成果指標	公民館利用者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	69,416人	39,675人	50,770人	71,400人	—	
事業内容・成果	年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、各地区に配置している社会教育指導員を中心に、ライフステージに応じた講座や地域の特色を生かした各種講座を企画実施したことにより令和2年度よりも利用者数は増加した。				評価	B
課題・方向性	新しい生活様式を実践した上で、学習者ニーズや住民の要求課題、地域課題を把握しながら、魅力のある多様な学習講座の展開を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館職員等の年間研修機会回数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2回	1回	2回	継続	3	
事業内容・成果	県公民館大会が新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催となった。公民館研修会はオンラインと対面のハイブリッド開催となり、社会教育に通じる諸研修の機会提供を行った。				評価	B
課題・方向性	今後も、自主的な公民館活動及び活性化を目指すための人材育成として、公民館役職員を対象にした研修機会や情報提供を行うとともに、オンライン研修の実施なども検討していく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館連絡会議の開催					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	継続	—	
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催した。公立公民館活動は感染症対策のため満足な活動ができなかった。				評価	B
課題・方向性	今後は、新しい生活様式を踏まえ、市内各公民館における活性化策及び課題解消の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	社会における人権教育の推進					
施策の方向性	人権教育・啓発の推進					
成果指標	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	531人	—	—	558人	222	
事業内容・成果	「西海市人権のつどい」を中止にしたことで、人権・同和問題に関する学習の機会が減少したが、「人権啓発作品コンクール」において1,686点の作品もの応募があり、人権啓発への意識醸成を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進				
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進				
施策の方向性	人権・同和教育、平和教育の推進				
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	全小・中学校で実施した。各学校で計画的に取り組んでおり、平和学習においては、原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演などを行った。			評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進				
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進				
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり				
成果指標	いじめ解決の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：78%	継続	—
事業内容・成果	各校の教職員と、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員が連携し、早期解決にむけて適切に対応した。また、定期的なアンケートの実施で児童生徒の実態把握を行った。			評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりを継続する。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13学級	11学級	7学級	20学級	88	
事業内容・成果	各PTA及び保護者会が主催する『家庭教育講座』に対し、講師謝金等の助成や講師選定の助言等を行い、家庭教育のあり方について、「親学び」の機会を提供した。 内訳（幼稚園・保育園2件、小学校5件）				評価	B
課題・方向性	今後も、PTA及び保護者会と連携を図りながら、家庭教育のあり方について学ぶ機会（講座・学級）を提供する。また、本事業の活用推進を図るため、市内各小中学校PTA、幼稚園及び保育所（園）保護者会に対し周知を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	0講座	2講座	3講座	—	
事業内容・成果	地区社会教育講座において、アウトドアクッキング教室や親子プログラミング教室を企画し、親子で触れ合いながら家庭教育について学ぶ機会を提供した。				評価	B
課題・方向性	地域ニーズや社会情勢の把握や各地区における社会教育講座との連携を視野に入れながら、公民館における家庭教育講座の開設について検討を行う必要がある。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	P T A活動の活性化					
施策の方向性	P T A活動の支援					
成果指標	P T A研究大会及び研修会等の開催					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3回	3回	3回	継続	1,517	
事業内容・成果	書面会議が主となったが、西海市P T A連合会の主催による、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修が開催され、会員相互の情報共有が図られた。				評価	B
課題・方向性	今後も、西海市P T A連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T Aの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援					
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3回	0回	0回	継続	1,144	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染防止対策のため、イベントでの啓発活動が実施できなかったことから、社会教育委員やココロねっこ指導員を中心に「は・あ・と・ふ・る運動」や「ココロねっこ運動」ののぼり旗の設置運動を強化した。また、「は・あ・と・ふ・る運動」に特化して、ランドセルカバーやバッジを製作し配布した。さらに、西海小学校を「は・あ・と・ふ・る運動」の活動推進指定校に指定し、積極的に啓発活動を行った。				評価	B
課題・方向性	支部活動の活性化を図りつつ、今後も青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年関係団体の活性化				
施策の方向性	指導者育成の支援				
成果指標	指導者研修会の開催				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2回	0回	1回	継続	—
事業内容・成果	対外的な研修会が中止になったことに伴い、支援活動は困難であったが、市内でココロねっこ指導員等講習会を開催し市内から11名の参加があった。			評価	B
課題・方向性	これまでは単なる情報提供に留まっていたが、今後は、提供範囲の拡大を含め、対象者の積極的かつ自発的な参加を促すような取組が必要である。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年の交流活動の推進				
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）				
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	21件	8件	11件	26件	2,060
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施団体は例年より減少傾向ではあったが、市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、11件の助成を行った。			評価	B
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	0回	2回	2回	—	
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣を16名（延べ数）行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行い、市内児童から15名の参加があった。				評価	B
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	27人	39人	26人	継続	20	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書類等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書類等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書類等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のために有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年を有害環境から守る取組				
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進				
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1人	5人	3人	5人	—
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行っている。令和3年度は市内小中高校や団体等へ5回派遣を行った。			評価	A
課題・方向性	市内の資格取得者は3人であり、県内他市町と比較すると割合は低い状況にあるため、メディア安全教育の更なる普及を推進するため、資格取得支援を継続する必要がある。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	安全確保を図る地域ボランティアの育成				
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策				
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。			評価	A
課題・方向性	子供が安心して学校や地域での生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	学校の適正配置の促進				
施策の方向性	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進				
成果指標	小学校数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	14校	13校	13校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	10,569
事業内容・成果	大崎地区小学校適正配置（学校統合）実施計画に基づき、大崎地区へ審議会及び分科会を設置し、令和4年4月の大崎小学校開校に向けた調査・研究を実施した。			評価	B
課題・方向性	大崎地区は、令和4年4月大崎小学校開校に向けた準備を進めながら、開校後の学校、保護者、地域等の支援体制を築いていく。大瀬戸地区においては、地域等の理解が得られていないことから、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引き続き検討する。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	社会教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	放課後の子どもたちの居場所づくり					
施策の方向性	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催					
成果指標	人材バンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	30人	42人	42名	継続	—	
事業内容・成果	<p>放課後及び土曜日等に子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう学校の余裕教室等を活用して居場所を確保し、人材バンク登録者をはじめとする地域住民等の参画を得て、放課後子ども教室及び土曜学習の充実に努めた。</p> <p>学校の余裕教室を活用した『放課後子ども教室』は、対象児童を限定したが延べ1,324人の児童が参加した。(内訳：西海東小学校547名、大島東小学校777名)</p> <p>また、『土曜学習』はふるさと体験発見コースとしてテーマ「漁業」の体験学習を市内各所を行い、延べ151名の児童が参加した。</p>				評価	A
課題・方向性	放課後子ども教室は小学校及び図書館の余裕教室を活用した事業を行っているが、実施場所が手狭で子どもたちの受入人数に限界があるため、近隣の公共施設等の活用や対象人数を検討し、事業の継続に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	奨学資金制度の拡充					
施策の方向性	奨学資金制度の充実					
成果指標	西海市奨学生の新規認定者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1人	15人	5人	10人	—	
事業内容・成果	<p>令和3年度新規奨学生として5名を決定し3,000千円の貸付を行った。併せて、昨年度からの継続者31名に対し10,080千円の貸付を行った。</p> <p>また、償還対象者のうち17名から1,370千円の返還があった。</p>				評価	B
課題・方向性	前年度と比較して新規認定者数が減少しており、奨学金を必要とする方に知ってもらえるよう、さらに周知に努める必要がある。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造				
成果指標	学校校舎の大規模改造				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	19校／43校	34校／43校	40校／43校	31校／43校	408,268
事業内容・成果	西彼北小学校大規模改修工事として、建築外部、内部建具、機械設備等の老朽化が著しい箇所の改修工事を行った。 また、大島東小学校においては、大崎地区小学校適正配置事業に伴う新設校開校に向けた大規模改修工事（I期工事）を行った。 なお、成果指標については、工種に基づく数値である。			評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい学校校舎の内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁並びに屋上防水改修に向け予算確保に努める。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	屋外運動場の改修				
成果指標	屋外運動場の改修				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	3校／9校	3校／9校	3校／9校	6校／9校	—
事業内容・成果	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。			評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋外運動場の改修に向け予算確保に努める。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造				
成果指標	屋内運動場の大規模改造				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	6校/26校	8校/26校	8校/26校	16校/26校	6,325
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。 また、西彼中学校屋内運動場については、大規模改修工事実施に向け実施設計を行い、令和4年度以降の改修工事の準備が整った。			評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋内運動場の内部の改修、外壁及び屋上防水の改修、並びにトイレの洋式化等への改修に向け予算確保に努める。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	学校の温暖化対策				
成果指標	学校の温暖化対策				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0校/12校	3校/12校 (17校/17校)	3校/12校 (17校/17校)	6校/12校 (17校/17校)	90,848
事業内容・成果	学校生活の中で大半を過ごす普通教室について、夏場の温暖化対策として扇風機等の設置を行う。 なお、成果指標の数値について、上段は温暖化対策として設置する扇風機等を必要とする学校数及び実績数を記載している。下段の数値については、令和2年度に普通教室、令和3年度において音楽室、多目的教室に空調設備及び換気設備を整備した学校数を挙げている。			評価	A
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き市内小中学校の特別教室等で空調設備が使用できるよう、計画的に整備を行う。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校情報通信技術の整備					
施策の方向性	教育ネットワークの構築					
成果指標	教育ネットワークの構築					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0%	50%	100%	100%	9,239	
事業内容・成果	国が提唱するGIGAスクール構想を推進するにあたり、安定したインターネット回線の速度向上のため、回線増に対応したルーターを購入したほか、家庭学習の充実を図るため、端末持ち帰り収納ケースと充電ケーブルを購入した。				評価	A
課題・方向性	教育委員会と各学校間のネットワークの整備や校務支援システム、グループウェアの導入、学校における情報セキュリティの強化に向け予算確保に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	教職員住宅の整備					
施策の方向性	教職員住宅の整備					
成果指標	教職員住宅の整備					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	90戸	93戸	93戸	102戸	9,710	
事業内容・成果	老朽化した教職員住宅の解体工事及び改修工事を実施するため実施設計業務を行った。 また、風水害で被災した際の緊急修繕をはじめ、随時、入居者から相談があった破損箇所修繕対応やシャワートイレ整備を計画的に実施し、教職員住宅の適正な管理を図るとともに環境の維持、安全確保に努めた。				評価	B
課題・方向性	教職員のニーズを把握し、教職員住宅が不足している地域に新たに住宅を整備するとともに、老朽化が著しい住宅を改築、改修するなど、引き続き住宅の整備に向けた予算確保に努める。 また、全ての教職員住宅においてシャワートイレ化を図るため、年次計画をたて、整備を図る。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	教職員住宅の整備				
施策の方向性	教職員住宅の水洗化				
成果指標	教職員住宅水洗化率				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	68.90%	83.02%	89.69%	85%	—
事業内容・成果	教職員住宅の水洗化を計画的に実施するため、未実施住宅の状況把握に努めた。			評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、新築、改修の機会を捉え、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進				
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出				
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用				
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回	2回	1回	1回	—
事業内容・成果	西海中学校、大島東小学校及び大島西小学校合同で文化庁事業による舞台芸術「広島交響楽団によるオーケストラ公演」の鑑賞機会を提供した。			評価	A
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携して、優れた文化・芸術に関するイベントを開催し、文化の振興に努める。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進				
主要事業	文化団体の交流活動の促進				
施策の方向性	文化活動の支援				
成果指標	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	3回 2,154人	4回 2,530人	2回 463人	3回 2,370人	—
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染拡大の中で、西海市文化協会主催による主要事業として、第4回さいかいミュージックフェス（10月）、第11回西海市文化祭（展示・12月）の開催を支援した。また、大島文化ホールにおいてラウンジ展示の開催を3回支援し、995人の来場を得た。			評価	B
課題・方向性	文化協会が主催する事業を支援し、市民の文化活動の活性化を推進する。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	560人	493人	631人	600人	6,930	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染拡大の中で、感染防止を図りながら文化活動を推進するための支援を行った。子ども対象の「夏休み子ども芸術体験講座」、広報紙・機関誌発行、大島文化ホール・ラウンジを会場とした展示会などの取組を支援し、協会の魅力向上に努めた。				評価	A
課題・方向性	会員増加と文化協会の活性化のため、今後も若者の文化活動を支援していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり					
成果指標	(仮称) さいかい市民ミュージアム(博物館)の創設					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	ミュージアム 準備室(仮) の設置 50%	7,374	
事業内容・成果	大瀬戸歴史民俗資料館に考古学専門の学芸員1名、崎戸歴史民俗資料館に事務員2名を配置した。本市の歴史等の調査・研究を進め、ホグット石鍋製作遺跡をはじめとした国・県・市指定文化財の保護や西海橋の国重要文化財指定について発信した。				評価	B
課題・方向性	歴史・文化の拠点となる施設を設置するためには、これまでの調査・研究の成果を含め、学芸員による市民への啓発的な活動が今後必要である。また、本市の魅力を市ウェブサイトや市内3箇所の歴史民俗資料館を中心に市内外に広く発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	文化財の保存・活用				
施策の方向性	市民への啓発				
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1,000冊 作成	適宜追記・増刷	西海史跡ガイドブックは追記等なし 西海橋（改訂版） を300冊作成	適宜追記・増刷	—
事業内容・成果	「西海橋」が国の重要文化財に指定されたことを記念し、ウェブ講演会、クルーズ講座、歴史講座等を実施し、『西海橋～地域を変えた夢の架け橋～改訂版』を発行した。記念企画展と「さいかいふるさと発見講座」は計画したが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。『西海市の文化財』の改訂版を発行するため、情報収集を継続した。			評価	B
課題・方向性	『西海市の文化財』を発行後、新たに指定された文化財があるため、改訂版を発行するための情報収集を継続する。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	文化財の保存・活用				
施策の方向性	保護・活用方法の検討				
成果指標	文化財の調査・研究着手件数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2件	4件	2件	3件	1,240
事業内容・成果	農地基盤整備事業に伴う天久保地区範囲確認調査を実施した。調査の結果、縄文時代の石器が採取できたが生活跡の多くは畑の際の整地により壊されてしまったようである。また、ペンギンモドキ化石の情報発信、西海橋の重要文化財指定、石鍋製作遺跡の保存に取り組んだ。			評価	B
課題・方向性	周知の埋蔵文化財包蔵地における無届工事が課題となっており、制度周知のため関係各所と連携し対策を講じている。現在取り組んでいる調査・研究について、市民の認識向上のために継続して情報を発信していく。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13件	14件	14件	15件	768	
事業内容・成果	令和2年度、令和3年度と西海市指定無形民俗文化財「上岳八朔祭」の映像記録の制作を予定していたが中止となったため、過去に撮影された映像の複製などを行った。また、国指定重要文化財西海橋の電子図書館での公開用映像を制作した。				評価	A
課題・方向性	少子・高齢化等の影響で伝統芸能の継承が困難となりつつある地域がある。伝統芸能については、映像記録の制作や必要な道具の購入など保持団体の状況に応じた支援に努めるとともに、郷土芸能等の映像記録を活用して、西海市民への周知に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	認定文化財の登録件数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0件	0件	0件	2件	1,790	
事業内容・成果	文化財としては、未指定の各地区にある文化遺産を継承すべく、保存要望があった西海市地域遺産に成り得る遺産等を現地調査し、西海市文化財保護審議会において協議した。西海市文化財保護補助金を創設し、西海市指定無形民俗文化財「下岳龍神祭」の道具倉庫の建設に補助金を交付した。				評価	B
課題・方向性	西海市地域遺産に対する市民の認知度が低いため、制度を周知する必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13回	10回	23回	20回	1,678	
事業内容・成果	一般市民を対象としたバウンドテニス講習会、小学生を対象とした水泳教室を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、瓊浦高校水泳部指導による水泳教室は中止、バウンドテニス講習会は実施回数を減らして開催した。地域の要請に応じてスポーツ推進委員と合同で出前講座を行った。				評価	A
課題・方向性	出前講座等イベントの参加者に競技者となってもらうことが課題である。スポーツ推進委員、スポーツ協会と教育委員会が連携し、生涯スポーツとしての競技者を増やしていく必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援					
成果指標	総合型地域スポーツクラブ設立団体数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1団体 (累計)	1団体 (累計)	1団体 (累計)	2団体 (累計)	—	
事業内容・成果	現在大瀬戸地区に1団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。西海市スポーツ協会協力のもと、春季・冬季計2回のクロスカントリー大会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。活動種目の増加についても検討を行ったが至らなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブについては、スポーツ協会の単協組織やスポーツ少年団などの組織が存在し、総合型クラブを推進していくメリットがあまり感じられないなどの意見がある。スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携して新たな総合型クラブの設置を検討していく必要もある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	アシスタントマネージャーの育成数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2人	2人	2人	3人	—	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の移動自粛もありアシスタントマネージャー養成講習会の受講者はいなかった。また、上級資格のクラブマネージャー養成講習会についても講習会場が東京などの都市圏のみでの開催となっているため参加者がいなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブの設置支援と併せて育成支援を検討する必要がある。アシスタントマネージャー養成講習会は、各県独自の開催が可能であり、有資格者の増加を目指す必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	1回	1回	2回	—	
事業内容・成果	スポーツ推進委員の資質向上のため、県実技講習会、県女性委員会主管研修会への派遣を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。そのため、西海市単独で実技講習会を実施した。				評価	B
課題・方向性	生涯スポーツの推進の観点から全世代が行える競技を推進していく必要がある。スポーツ推進員を中心とした軽スポーツの普及に力を入れていく。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会への派遣回数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	0回	0回	2回	—	
事業内容・成果	委員の資質向上を目的にスポーツ推進委員協議会主催の県、九州地区の研究大会へ委員の派遣を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。				評価	B
課題・方向性	西海市スポーツ推進委員会と西海市スポーツ協会との連携を密にし、連携した事業を行う必要がある。様々な年齢層、競技層を活性化できる高いレベルの指導者の育成が必要といえる。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	「スポーツリーダーバンク制度」の確立					
成果指標	西海市スポーツリーダーバンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0人	10人	10人	15人	—	
事業内容・成果	市民の体育・スポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツリーダーバンク制度を導入するために必要なスポーツリーダーバンク設置要綱を制定した。また、スポーツリーダーの募集及び登録について、スポーツ推進委員会で周知を行なった。				評価	B
課題・方向性	スポーツリーダーバンク制度を活用する団体がいるのかを把握する必要がある。スポーツリーダーの存在を周知し、スポーツリーダーの募集とともに活用を行う依頼者を増やしていく必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催					
成果指標	西海市体育協会加盟団体数					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	18団体	21団体	21団体	継続	11,794	
事業内容・成果	構成団体21団体、会員数1,652人である。スポーツ普及振興事業、指導者育成事業として講習会等を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。ソフトボールの会員数は増員したものの、バレーボール、グラウンドゴルフの会員数が減員となった。団体数は維持し活動は継続している。				評価	B
課題・方向性	西海市の人口が減少する中で、未加入の競技団体への加入を促進し、競技人口をいかにして持続していくかが課題である。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	240人	87人	119人	300人	—	
事業内容・成果	県民体育大会に、西海市スポーツ協会を通じて119人の選手を派遣した。				評価	B
課題・方向性	人口減少とともに競技人口が減少している状況にある。西海市スポーツ協会と連携し、競技人口の拡充を図り、競技力の向上を図る。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実					
主要事業	スポーツ施設の整備充実					
施策の方向性	スポーツ施設の整備					
成果指標	体育施設整備進捗率					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	22%	45%	50%	50%	19,217	
事業内容・成果	大瀬戸総合運動公園体育館屋上工事を実施し、利用者の利便性を向上させた。整備計画に基づき老朽化した西海スポーツガーデン体育館改修工事の設計を行い令和4年度の工事につなげた。				評価	A
課題・方向性	施設の老朽化が激しく大規模改修を伴う修繕が必要となってきた。廃止も含めて体育施設整備計画を見直し、年次計画で整備充実を図る。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実					
主要事業	スポーツの推進体制づくり					
施策の方向性	情報提供の充実					
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）					
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	12回	29回	30回	継続	—	
事業内容・成果	市広報に12回、西海市ウェブサイトにて18回掲載を行った。七釜鍾乳洞ロードレース大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが周知については、レース計測委託業者を通じて専用HPの開設やスポーツ情報サイトにて周知を行った。				評価	A
課題・方向性	広報のみでの周知となると、イベント情報や大会結果の掲載に遅れが生じてしまい旬な情報の周知が難しいため、西海市ウェブサイト、NBCデータ放送等を使い早めの情報周知に努めていきたい。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	スポーツ環境の充実				
主要事業	スポーツの推進体制づくり				
施策の方向性	関係機関との連携強化				
成果指標	スポーツ関係情報交換会開催回数				
	現況値 (H27年度)	R2年度	R3年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回/年	0回/年	1回/年	1回/年	—
事業内容・成果	西海市のスポーツ関係者（指導者、競技者、保護者）とのスポーツの現状について意見交換を行う場を設定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催に変更、意見を集約、フィードバックする方法とした。			評価	A
課題・方向性	小・中学生のスポーツ活動についての問題が多く提起されている。本市だけで解決できない学校教育上での課題が多くあることから、学校とも協調しながらスポーツ振興が図られるような取組みが必要である。				